

会社概要

商号 林兼産業株式会社
本店所在地 〒750-8608
山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL (083) 266-0210 FAX (083) 266-1266
主要製品 食肉加工品(キリシマハム)・肉類(霧島黒豚)
魚肉ハム・ソーセージ
機能性食品(エラスチン・ソフミート)
養魚用飼料

役員一覧

2024年10月1日現在

取締役社長 (代表取締役)	中部 哲二
専務取締役	事業統括本部長 兼飼料事業部長 三代 健造
取締役	事業統括本部食品事業部長 兼機能食品部長 平野 斉
取締役	経営管理本部長 戸倉 信一
取締役	事業統括本部 食品事業部副事業部長 安部 克彦
取締役	経営管理本部副本部長 鈴田 修士
取締役 (社外・独立)	田中 姿子
取締役 監査等委員 (社外・独立)	岩村 修二
取締役 監査等委員 (社外・独立)	山尾 哲之
取締役 監査等委員 (社外)	三田村 知尋
取締役 監査等委員 (社外・常勤)	中嶋 一貴

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の口座管理機関	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
連絡先	電話 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所(スタンダード市場)
公告の方法	電子公告により行う



この報告書は、FSC®認証紙と、
環境に優しい植物油インキを使用
して印刷しています。

Today's Special

当社オンラインショップのおすすめ商品

霧島黒豚ロース肉漬け三昧



自社ブランド宮崎県産「霧島黒豚」のロース肉を食べやすい厚みにカットし、3種類の味噌ダレに漬け込み、味の違いを楽しめるセットです。

白味噌がやさしく香る「西京漬け」、塩糀の塩気がアクセントになる「塩糀漬け」、大分の老舗味噌屋のハヤシカネオリジナル米糀味噌ダレで作った「米糀味噌漬け」。米糀味噌漬けは40年に渡り愛され続けるロングセラー商品です。

オンライン
ショップはこちら



霧島黒豚
動画はこちら



当社ホームページでIR情報等が
ご覧いただけます。

<https://www.hayashikane.co.jp/>

林兼産業

検索

証券コード | 2286

With you

第86期

中間期

株主通信

2024年4月1日～2024年9月30日



社長から皆さまへ

株主の皆さまに第86期中間株主通信をお手もとにお届け申しあげるにあたりまして、日ごろのご愛顧とご支援に厚く御礼申し上げます。

当中間期の当社グループの売上高は、原材料価格やエネルギーコストの高騰に対応するために行った飼料の価格改定および養魚用飼料の海外向け販売数量が増加したことにより246億77百万円(前年同期比3.9%増加)となりました。損益面におきましては、自社ブランド「霧島黒豚」の子会社農場における肥育成績の悪化等により、営業利益は1億97百万円(前年同期比73.5%減少)、経常利益は3億67百万円(前年同期比57.0%減少)、親会社株主に帰属する中間純利益は2億41百万円(前年同期比61.4%減少)となりました。

このような状況のなか、当社グループではHayashikaneだからできる『生きる力』のジャンルトップを目指し「中期経営計画Challenge2026」(2025年3月期～2026年3月期)を策定いたしました。これまでの中期経営計画の成果を基に「新たな構造改革」と称して、資本コストを意識した経営実現、収益構造の見直し、生産体制および設備の最適化、安定配当の継続、将来に向けての投資等を実行してまいります。今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月

取締役社長
中部 哲二



※「中期経営計画Challenge2026」の詳細につきましては、当社ホームページ「中期経営計画」をご参照ください。
[<https://www.hayashikane.co.jp/ir/managementplan/>]

 Hayashikane

セグメント概況

[食品事業]



機能性素材は、エラスチンの海外向け販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

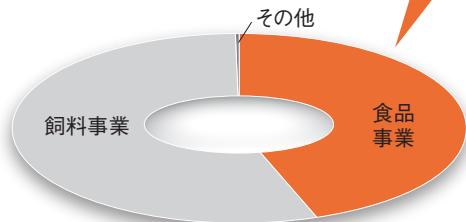
加工食品は、魚肉ねり製品の海外向け販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

肉類は、牛肉の販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

これらにより、売上高は110億18百万円(前年同期比0.5%減少)となりました。

セグメント別売上高

110億18百万円
(前年同期比0.5%減少)



[飼料事業]



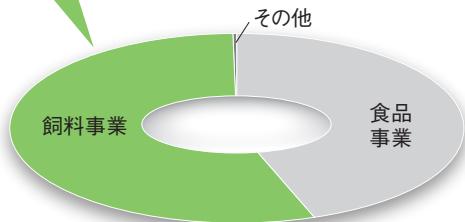
配合飼料は、原材料価格やエネルギーコストの高騰に対応した価格改定および養魚用飼料の海外向け販売数量が増加したことにより、増収となりました。

水産物は、相場が低調に推移したことにより、減収となりました。

これらにより、売上高は136億37百万円(前年同期比7.7%増加)となりました。

セグメント別売上高

136億37百万円
(前年同期比7.7%増加)



連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2024年9月30日)
資産の部	
流動資産	16,792
固定資産	13,193
有形固定資産	8,106
無形固定資産	104
投資その他の資産	4,982
資産合計	29,986
負債の部	
流動負債	13,429
固定負債	5,479
負債合計	18,909
純資産の部	
株主資本	9,636
資本金	3,415
資本剰余金	2
利益剰余金	6,437
自己株式	△219
その他の包括利益累計額	1,440
その他有価証券評価差額金	1,442
繰延ヘッジ損益	△10
退職給付に係る調整累計額	8
純資産合計	11,076
負債純資産合計	29,986

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)
売上高	24,677
売上原価	22,213
売上総利益	2,464
販売費及び一般管理費	2,266
営業利益	197
営業外収益	229
営業外費用	59
経常利益	367
特別利益	137
特別損失	1
税金等調整前中間純利益	503
法人税等合計	262
親会社株主に帰属する中間純利益	241

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,696
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,603
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,118
現金及び現金同等物の期首残高	2,501
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,383

○連結売上高

(百万円)



○連結経常利益

(百万円)



○親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

(百万円)

